

廃棄物対策審議会議事録

会議名	平成28年度第4回廃棄物対策審議会
日時	平成29年1月17日(火) 13時30分～15時30分
場所	リサイクルプラザ・プラザ館2階 第3研修室
出席委員	稲葉委員、高橋委員、龍田委員、中村委員、春田委員、樋口委員、三木委員、恵良委員、藤田委員、秋山委員、橋本委員
欠席委員	村越委員、鈴木委員
会長	稲葉委員
事務局	古川環境部長、糸井クリーンセンター所長、佐々木副所長、金子副所長、鈴木副所長、村山管理計画係長、藤原収集・リサイクル係長、宮崎管理計画係副主査、宮原管理計画係主事
傍聴人	0人
議題	1 自己搬入ごみ手数料の見直しについて 2 その他
資料	当日配布 ・平成28年度「第4回流山市廃棄物対策審議会」次第 ・席次表 ・資料1. 自己搬入ごみ手数料改定のポイント ・資料2. 前回の会議で出た料金改定についての意見と回答 ・資料3. 前回の会議で出た質問と回答
議事要旨	別紙のとおり

議事要旨

<ul style="list-style-type: none"> ・開会（13時30分） ・会長あいさつ ・議題 <ul style="list-style-type: none"> 1）自己搬入ごみ手数料の見直しについて 2）その他 ・閉会 	
司会 (佐々木副所長)	<p>定刻となりましたので、平成28年度「第4回流山市廃棄物対策審議会」を開会します。</p> <p>司会進行を務めさせていただきます、クリーンセンター副所長の佐々木と申します。</p> <p>はじめに稲葉会長からご挨拶をお願い申し上げます。</p>
稲葉会長	～会長挨拶～
佐々木副所長	<p>～資料の確認～</p> <p>それでは、これより議事に入りたいと思います。</p> <p>ここからの進行は稲葉会長をお願い申し上げます。</p>
稲葉会長	それでは、議題1「自己搬入ごみ手数料の見直しについて」の説明を、事務局より説明願います。
藤原係長	～自己搬入ごみ手数料の見直しについて説明～
稲葉会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今ご説明いただきました、自己搬入ごみ手数料の見直しについてご質問等いただきたいと思います。</p>
春田委員	資料1の見直し案は前回の料金設定と同じですか
藤原係長	同じです。
春田委員	<p>わかりました。</p> <p>私は基本的には賛成です。</p>
高橋委員	<p>資料2の2番目が重要であると思います。</p> <p>前回の議事録を読んでいて、私は、5kg未満を無料としているところを100円とするという事が一番大きな変更点なのかなと感じ、それに対して、例えば、「緊急に処理する必要がある」といった具体的な理由を、何らかの形で示してもらいたいということで、可能でしたら、「無料化の所を有料とすることについては緊急に処理する必要がある」といったように書いて頂けたらと思います。</p> <p>基本的に無料を有料とすることについては、仕方ないのかなという気がいたします。</p>
稲葉会長	もう少し丁寧な説明理由を記載してほしいというご意見でした。
古川部長	<p>前回皆様のご意見を伺ったところ、無料の部分有料とすることについてはいいのではないかと、ほとんどの皆様がそういったご意見でしたので、ここに記載はしませんでした。今おっしゃられたように、記載させていただきたいと思います。</p>

龍田委員	市民の方にこの表現で、ご理解を得られるかどうかということで、経済的にどうなのかといったことをもう少し具体的に挙げた方がいいと思います。審議会委員がここで決めたものを市民にどのように提示していくか、その辺りをもっと具体的にお願いします。
古川部長	これは条例事項ですので、条例改正となりますが、その場合、パブコメなどで市民の意見を聞くこととなります。ただ、柏と同等にしますと、現在の料金設定から33.3%上昇することとなります。そうしますと、どうしてその価格にするのかということとなります。ただ、柏と一緒にした理由にするのではなく、例えば、これから経費が上がっていきますので、その経費の部分を、「これくらい上がりますので、補います」という考え方で、市民の皆さんの理解を得られないと、条例が議会を通りませんので、もう少し詰めさせていただかないといけないと思います。 本日検討案で出させていただいたのは、検討案です。
稲葉会長	審議会では、ずっと議論してきてわかっていることであえて文章にはしていませんが、市民はやはりゼロからですので、そこはわかりやすく話の流れを示していただければと思います。
樋口委員	なるべくわかりやすい言葉で、普通の市民が読んでみようかなという内容、言葉でお願いします。
稲葉会長	このことに限りませんが、パブコメの際にはこういった資料が配られるのでしょうか。ホームページのデザインですとか、回覧板の配布物が配られるのでしょうか。
古川部長	ホームページのデザインまではいきませんが「こういった内容でこういった背景があって、こういった根拠でこれだけ上げます」とわかりやすい内容のものをパブコメにかけることとなります。
稲葉会長	必要に応じてわかりやすいグラフなども付けてということになるかと思いますが、パブコメ案作成の時期が3月から4月にかけてということですね。
古川部長	パブコメ案を作成した後、庁内で一度検討します。その後、こういった内容でパブコメを行いますと、政策調整会議、庁議にかけまして、それから市議会の全員協議会へ報告するといった流れですすめ、そこで初めてパブコメとなります。その段階でいろいろなご指摘を頂き磨き上げていきます。
三木委員	市民の持っている資料の中では、5kg未満が無料という記述がないということと、区切りについて、10kgあたりという書き方をしているものしかありませんので、実際に搬入されたことのない市民は知らないのではないかと思います。 また、そこから3割の値上げという事について、金額の算出根拠がわかりにくいということと、近隣市で一番高い柏市と同等ですといった内容では、根拠として弱いように感じます。 一般市民としては価格を上げることに抵抗がありますが、前回の審議会ですらいろいろ意見を申し上げて今回変更がないという事は仕方がないのかなとも思います。
古川部長	パブコメに限らず、値上げという事になると、市民の関心も、抵抗もありますから、きちんと説明いたします。

稲葉会長	前審議会では最低料金のみならず料金全体を見直すことになったという流れはご説明いただきましたが、市民にはそこから説明していく必要もありますので、その理由を拾ってわかりやすく説明いただければと思います。
恵良委員	資料1について、70kgまで表示していただけていますが、あまり大きな量の表示は意味がないように思います。また、5kgごとに表示をしていただけていますが、5kg単位のところはいらないのではないのでしょうか。
糸井所長	流山市の計量器が10kg以下を四捨五入で計算しているから5kgのところでは料金が変わります。
恵良委員	なぜ持ってきた量以上の料金を取られるのかとの勘違いを誘発するように思います。
三木委員	私は、この枠があった方がわかりやすいかと思います。
恵良委員	ですから、この枠の所を、例えば14kgでしたら、216円、16kgから、24kgまでが432円とするのがわかりやすいと思います。
糸井所長	これはあくまでも、審議会です。用います資料で、実際に市役所の条例事項になる時には10kg毎にいくらという記載になります。
恵良委員	このままパブコメに出すわけではないという事ですね。
稲葉会長	今、恵良副会長が話された、5kgところに目盛を振っておられるのは、柏市や野田市が10kg単位で切り上げているからですね。 市民の方に示されるときはもう少しわかりやすくして頂けるということで、お願いしたいと思います。
高橋委員	この案はいいと思いますが、この表を見ると野田市が一番安いのですが、野田市でもこういった動きはあるのでしょうか。
藤原係長	野田市での料金改定は聞いていませんが、現在松戸市が、料金改定の検討をしていると聞いています。
稲葉会長	クリーンセンターに持ち込まれるものは事業者のものが多いという事で、事業系だけを引き上げるのではなく、ということですね。 料金案については、無料の所は有料にするという事、また料金の設定についても反対の意見はございませんでした。ですが、説明の資料については充実させていただきたいということで、宿題とさせていただきたいと思います。 続きまして議題2その他ということですが、議題に入る前に、資料3、前回の会議で出た質問と回答についてですが、事務局から資料説明をお願いしたいと思います。 これについては次回以降の審議会の議題であります基本計画について、簡単に事務局の方から説明して頂きたいと思います。
古川部長 藤原係長	～資料3 前回の会議で出た質問と回答について説明～
中村委員	資料3の項目2に、リサイクル館の包括管理の開始とありますがこれはどういったことでしょうか。
金子副所長	～包括管理について説明～
稲葉会長	項目1の回答について、ごみ焼却に伴った分が含まれていないという事を注記した方がいいように思います。記載方法としては、施設からのCO2排出量ということですね。

古川部長	<p>分け方としては、電気を購入した際の、その電気を作る際に発生した CO2 量となります。</p> <p>また、この他に化石燃料、廃棄物、これらの3種に分けさせていただいています。</p> <p>訂正するのであれば、そのことを記載することになるのかと思います。</p>
稲葉会長	<p>エネルギー消費に関わるということですね。</p> <p>ですから、直接の化石燃料の燃焼分と、電力を消費した時にさかのぼって火力発電として発生した分という事ですね。</p> <p>記載の仕方としては、「エネルギー消費に伴う CO2 排出量(ごみ焼却直接分は含まれず)」ということですね。</p> <p>次回にそこも含めた値を示していただきたいと思います。</p> <p>一番下の※2つ目のところに、「環境白書で出している数値とは、ごみ焼却直接分の扱いの基準に違いがあります」とするということですね。</p>
龍田委員	<p>流山の人口が増えるということに伴って、ごみに対する対策的なものを具体的に検討しているかどうか伺いたいと思います。</p>
稲葉会長	<p>それはここの回答に対するご意見とは違いますね。</p> <p>次回の審議内容ですので、次期基本計画を審議する中で再度ご意見ください。</p> <p>今は、前回会議で出た質問に対する回答へのご意見ご質問を頂ければと思います。</p> <p>今後修繕費等が増えていく可能性があるということですが、現在の施設が稼働して15年ですか。</p>
糸井所長	<p>4月から、リサイクル館が15年目、焼却施設が14年目を迎えます。</p>
稲葉会長	<p>計画では、大体20年を目安として寿命を考えておられるのでしょうか。</p>
糸井所長	<p>ですので、次回の基本計画の中では、長寿命化計画や、延命化計画、基幹整備計画といった位置付けが入ってきて、平成30年代には機械の更新を行いたいと考えています。</p>
稲葉会長	<p>年数が経っているから修繕費もかかってくるということですね。今まではかからなかったけれど、これからは増えていく見通しということですね。</p>
橋本委員	<p>4番についてですが、他市からのごみの搬入は認めているのですか。</p>
佐々木副所長	<p>それは認めていません。</p> <p>市のごみであることが確認できるよう、免許証や公共料金の支払い書等で確認を行っています。</p>
藤田委員	<p>それでも入ってくるということは、それをすり抜けて何らかの方法で入ってくるということですね。</p>
佐々木副所長	<p>そうです。そういった例が稀にあるということです。</p>
高橋委員	<p>4番の書き方の問題で、「すべての搬入車両を調べることは不可能です」というように「できない」と言うのではなく、「不可能に近い状況です」といった表現の方がいいように思います。</p>
稲葉会長	<p>確かに、まったく対応をしないわけではなく、可能な限り対応をしていますので、付け加えるなら、「すべての搬入車両を厳密に調べること」ということですね。</p>

糸井所長	<p>ほぼ厳密に調べて適正に収集されていますが、一部他市からの流入がある可能性が見受けられるということです。</p>
高橋委員	<p>書き方の問題で、現実に則した書き方がいのように思いました。</p> <p>それともう一点、先ほどの議論と関係があるかもしれませんが、前回までの議論だと、無料だと他市からの持込みがかなりあるのではないかということをおっしゃられていたように思いますが、今回仮に0円であった価格帯についても有料化となった場合に、他市からの持込みの量は減らせるというようにお考えでしょうか。無料化を無くすためのひとつの方法だとしたら、他市からの不適正なごみの搬入を減らすためですといった理由をつけて、有料化のひとつの根拠とするのがいいかと思えます。</p>
佐々木副所長	<p>今までは、5kg未满是0円でしたので、他市から持ち込むというケースがあったかもしれませんが、今回の最低料金の導入でそれも防げると考えています。</p>
稲葉会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>5番の平成25年度の自己搬入の件数に括弧がされているのは、中間集計といった意味合いでしょうか。</p>
藤原係長	<p>過年度の正確な数字が集計できなかったため、平成27年度の割合で全体量を割り返したものです。</p>
稲葉会長	<p>H27年度の割合を、利用して推計したということですか。</p> <p>そういった経緯はできるだけ記載してください。</p>
三木委員	<p>野田市の方が、流山市の方がごみを捨てやすいので、知り合いに頼んで持っていくという話を聞いたことがあります。金額が安いのに流山市の方が捨てやすいということは、他市が計量をしていないのではないかと考えますがいかがでしょうか。</p>
藤田委員	<p>私も同様の話を聞いたことがあります。野田市では必ず指定袋に名前を書いて出さなければならず、またチェックも厳しいというように伺っています。</p>
金子副所長	<p>今おっしゃられたのは通常の回収の話かと思えますが、クリーンセンターへの直接搬入については、どこの市町村もごみの発生抑制の観点から、搬入件数を抑えようとしていることと、もう一点、集積場に出すことで無料で収集できますので、クリーンセンターに持ち込まないようにといった方策を各市町村で考えていると思えます。</p> <p>今申し上げられましたように、指定袋を使用し、名前を明記していただくこともその一環です。</p> <p>また、松戸市や柏市では直接搬入の場合、件数を制限しているところもあります。</p> <p>そういった方法で、直接搬入する件数をなるべく減らすことでごみの抑制と考えているところがあります。</p> <p>しかし、流山市の場合、寛容すぎるところがありますので、今後皆さんに審議して頂く一般廃棄物処理基本計画の中でそういったところも御審議いただきたいと思えます。</p>
稲葉会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは次の議題にいきたいと思えます。</p> <p>次期流山市一般廃棄物処理基本計画の説明を事務局からお願いします。</p>

村山係長	～流山市一般廃棄物処理基本計画について説明～
稲葉会長	ありがとうございます。 ただ今、事務局から流山市一般廃棄物処理基本計画についてご説明いただきました。 新しい一般廃棄物処理基本計画の策定予定はいつでしょうか。
村山係長	平成30年12月に議会に提出する予定です。
稲葉会長	配付のスケジュールに定例会とあるところですね。この定例会で説明されて、12月中に確定ということでしょうか。
村山係長	12月議会で説明し、その後印刷製本というスケジュールになります。
稲葉会長	議会で説明した後、訂正されることはないのでしょうか
古川部長	基本的にありません。
稲葉会長	では、実際は11月中にはほぼ確定するということですね。
春田委員	この資料フローについてですが、行政は縦割りであるように思います。ですから、この国や県からくるこういったものに基づいて今回の基本計画を見直しますというストーリーですが、これから見直しをする中で、流山市の様々な計画がございますが、上からの計画だけではなく、横の計画との整合性もとっていただきたいと思います。 具体的に申し上げますと、同じ環境部の中で、環境審議会と同じような形で廃棄物対策審議会を開催していますが、環境審議会で議論している内容と廃棄物対策審議会で審議している内容とでリンクして頂きたい。横の連携をしていないように感じます。ですから、今回一般廃棄物処理基本計画の策定にあたりましては、是非横の連携も含めまして、作っていただきたいと思います。
稲葉会長	私も同意見です。 計画の縦の位置付けは解りましたが、先ほどからも話題が出ていますように、温室効果ガスの対策については、他の審議会とのデータのリンクもあるかと思しますので、出来るだけ横の情報もいただいてやっていただきたいと思います。 このことについていかがでしょうか。
染谷次長	～環境基本計画について補足説明～ 環境基本計画については総合的な計画ですので、関連計画の中で横の連携を取りながら進めさせていただきます。
古川部長	今の話は環境部の中のことでしたが、熊本の地震の発生により、災害廃棄物への関心が増えています。そこで、災害廃棄物の処理について取り扱う、災害廃棄物処理計画を策定しますが、一般廃棄物処理基本計画と合わせて策定いたします。この策定には防災担当課をはじめ、様々な課と横の連携をとる必要が出てきます。ですので、市役所の中でさらに横に連携を広げていくつもりであります。
稲葉会長	とくに災害などは、フェイズによって、人手がいる部門が刻々と変わっていくこともあり、応援として行くこともありますでしょうし、初動の連絡、市民への周知などの業務もあるかと思えます。是非その辺も他課との連携を進めて頂ければと思います。

高橋委員	<p>先ほどの説明の中で、コンサルに依頼をするということを言われたかと思いますが、実際にコンサルから素案が出てくるというのは、どのタイミングですか。</p> <p>議論をする上でも、素案なりベースとなるものがあつた方がいいと思いますので、依頼をするのであれば、なるべく早く審議会に出していただけるように考えて頂ければと思います。</p>
村山係長	<p>予定ですが、今年度中に出来る限りの業務を進め、平成29年4月に入りましたら、早急に入札の手続きをとりたいと考えています。</p> <p>業者が決定するのは早くて、5月中になるであろうと考えています。</p> <p>先ほど、平成29年度の第1回審議会を5月半ばに考えていると申し上げましたが、こちらの開催日も一月二月遅れるという事も考えられることを申し上げておきます。</p>
稲葉会長	<p>コンサルが5月頃に決まるとのことでしたが、素案が出来るのはいつごろになりそうですか。</p>
村山係長	<p>夏前を考えております。</p>
稲葉会長	<p>それを待つて審議会をずらすという事も考えられるわけですね。</p>
村山係長	<p>今後皆様にご審議いただく内容につきましても、1回目はこう、2回目はこうと、素案が上がってきたらどういった話をするのかというスケジュールも今後詰めていきたいと思ひます。</p>
稲葉会長	<p>スケジュールも、この資料には平成29年度中4回とありますが、これも流動的という事ですね。</p>
村山係長	<p>そうです。</p>
恵良委員	<p>コンサルとこの審議会の関係ですが、業者が決定していれば、平成29年度の第1回の審議会に出て頂きたいと思ひます。素案の内容に関して、一緒に我々の意見を反映できるように作り上げていった方がいい基本計画になるように思ひます。</p>
村山係長	<p>1回目の審議から素案の中に盛り込んでもらいたい内容がございましたら、是非お寄せいただきたいと思ひますし、できましたら、お時間があるときに、以前お配りしました流山市一般廃棄物処理基本計画の例えば、34、35ページの発生抑制に目を通していただきたいというのと、今のうちから具体的な発生抑制の案をお考えいただければと思ひます。</p>
恵良委員	<p>何故、1回目からコンサルに出ていただいた方がいいと申し上げたかといひますと、コンサルは日本全国のいろいろな計画を作っています。そのため多様な事例を御存知ですので、最初から議論の中に加わっていただけると、こういったケースがあるよと示していただけるので我々にもわかりやすいように思ひます。</p> <p>かつて環境部でこういった計画を作る際に、市民の代表である審議会と、コンサルと一緒にやっていくという方法で進めたことがあります。非常にうまくいきましたので、今回もそういった方法をとれるといいと思ひます。</p> <p>また、各委員が今の計画をじっくり読んで勉強することは必要だと思ひます。</p>
糸井所長	<p>専門的知見のあるコンサルに同席して頂けるように考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p>

稲葉会長	私も同様に考えます。是非、早い段階でコンサルに入っただき、お持ちのノウハウを披歴いただけたらと思います。他に意見はございますか。
春田委員	先の話になりますが、おそらく、いい計画ができるし、いい冊子ができると思いますが、そこで終わってしまうように思います。どう市民の方にお知らせするかだと思います。どういった形で市民に配られるかはわかりませんが、今までは冊子ができたところで満足してしまっていたように感じました。例えば、図書館に置いたからいいのではないという話で、図書館に行っても、ないケースがございます。ですから、出来上がった基本計画を、どう活用するのか、そこまで議論して頂きたいと思います。2年間かけて策定したものを、作って終わりではもったいないように思いますので、是非ご議論いただきたいと思います。 また、今のものは市民に配られていますか？
古川部長	ホームページ上でのみ掲載しています。
春田委員	ホームページ上での公開でどのくらいの方が見てくださるか、疑問に思います。
糸井所長	予算の関係上、中間評価は100部しか刷っていません。
春田委員	出来た冊子について、積みっぱなしでは困ります。市民にどれだけいきわたるかだと思います。
古川部長	どれだけ市民に伝わるかということですね。少し話は変わりますが、環境基本計画は、大人用、子供用がありまして、小学校4年生の時に校外学習を行う際に、こういった子供用を生徒に配布しています。 たとえばそういった工夫があると思いますので、それはこれから考えていく必要があるように思います。
稲葉会長	そういった出来るだけページ数が少なく、概要がわかる簡易版を作成するといった方法ですね。 また、冊子は部数が限られると思いますが、web上で見られるとしても、担当課のトップページにもってくるといった工夫が考えられると思います。
古川部長	人がたくさん集まる場所、例えば施設見学の方がいらっしゃった際に説明をして、原本でなく簡易版を示すといった方法を考えております。
稲葉会長	ありがとうございます。他にどなたかご意見ありますでしょうか。 スケジュールを拝見すると4回の開催を予定されているとのことですが、もしかすると5回になるかもしれませんが、お忙しい皆様のご参集を募るとすれば、二か月に1回が限度かなとも思います。
三木委員	まだよくわかっていないところがありますが、今後1年2年の間に、一般廃棄物処理基本計画を作ることですね。 また、基本的なところは作っていただいて、それに対して審議するというところでよろしいでしょうか。 しかしながら、一般廃棄物処理基本計画これはコストをかけて印刷しても、私自身もそんなに読みたいと思いませんし、配られても困ると思います。ひとつずつしっかり読み込んで理解していけば、いいことも書いてあるのかもしれませんが、内容的にもどうなのかなというところが多々見受けられるのと、できたものを実際活用する場がなければ、作っても意味がないのかなと少し思いました。

稲葉会長	<p>実際に審議するときには、私も前期から参加させていただいておりますが、内容が多岐に渡る冊子で、すべての項目のチェックは難しいので、やはり要点をしぼって、「ここは審議会の意見を受けて変えました」というところについて確認することになるかと思います。</p> <p>おそらく最初は計画の骨組みについて、大きくこれとこれについて話し合いますがよろしいでしょうかということ意見をいただき、大きなところでここが足りないのではないかとか、先ほどのような横の連携が足りないのではないかとといった意見も出てくるかもしれませんし、あとは活用の方法は大事ですね。やはり、市民に確認して頂くことが大事であるとか、市自体がいい方向に変わっていくために、計画を掲げてそれに向かって努力していくんだと。そして、できなかったところは、流山市は自ら×をつけるという勇気を示すという事ですね。これも市民他に伝わらなければ意味がないということで、わかりやすく伝えていくことが大事かと思います。わかりやすくして市民に伝われば、市がやっていることの理解も得られるでしょうし、また意見が出ればそれをくみ取ることもできるかと思います。</p> <p>また、料金の値上げについてもこういった理由ですと伝えることで、市民に納得していただいたりできるかと思います。</p> <p>ですので、活用の方法は市民に伝わって初めて意味が出てくる場所があるかと思います。</p>
恵良委員	<p>以前、景気のいい時代に環境部で、エコライフという冊子を、最初は新聞折り込みで年4回程度全戸配布していたと思うのですが、こういった計画の事や料金改定といったことを臨時的に発行していくこともいいのかなと思いました。</p> <p>そういった画期的なことを当時環境部さんでやってらっしゃいましたよね。</p> <p>当時はバブルでお金があったのでしょうかけれど、当時としてもそれだけお金をかける意気込みといいますか、環境にかける市自体の力の入れ方が、当時は相当の予算という形としてあったのだと思います。</p> <p>そういった方法も是非考えて頂きたいと思います。</p>
糸井所長	～エコライフについて説明～
恵良委員	エコライフの第1号の1面に、市野谷の森の記事を載せていただいたのを覚えております。それが、市野谷の森の保全に役立ったということがありましたので、すごくありがたいなと思っております。
稲葉会長	刊行はいつ頃終わってしまったのでしょうか。
恵良委員	3年か4年程度続いたように記憶しております。
稲葉会長	また、発行頻度は毎月でしょうか
糸井所長	<p>年に3、4回程度であったと記憶しています。季刊ですね。</p> <p>現在、市では年に2回程度、ケロクル通信と申しまして、「こういった活動をしています」というものを、A3版で表裏印刷して発行しています。</p> <p>その配布部数も、減量等推進委員に対してのみですので、それをもっと拡大出来ればなと思います。</p>
稲葉会長	ホームページへの掲載はされていますか。
糸井所長	しています。

古川部長	自治会配付にする等の方法も考えていきたいと思います。SNSを利用するなどといった方法もですね。
稲葉会長	あとは、できるだけスマホ等に対応していただけたらと思います。
三木委員	全戸に配布されているのは広報だと思いますが、こういった大量の文字ではなく、特集号等で絵を多くして掲載していただければと思います。
藤田委員	自治会に周知することは非常に大変であると感じます。回覧物を回しても、本当に見たのかなという感じで戻ってきます。ある程度若い年齢層の方たちはホームページを見て、こういったことが載っていた等とご連絡をいただけますが、ある程度の年代以降がそういったものをどのくらい利用しているのかなと思います。 また、今は出前講座みたいなものはやっているのでしょうか。
藤原係長	依頼があればやっています。
藤田委員	お願いすればやっていただけるということですね。 今、市の方からも、自治会でいろいろな行事をするための勉強会といったような、いろいろな情報がきますが、私はごみのことが一番大事だと思っていて、新しく引っ越してきた方にも、直接お会いして説明をしますが、やはり、周知するということは大変なんだなと感じます。 ですので、いろいろな方法でいろいろな角度からまめにお知らせしていく必要があると感じています。
稲葉会長	出来るだけもれなく、それぞれの年齢層にあった方法で周知できるのがいいかと思います。ホームページは自分で探さないといけませんので、まずは配布物のような、市から情報を出す形がいいかと思います。
中村委員	話が前後して申し訳ありませんが、資料2の3番について、「事業者の理解を得にくいために両方引き上げることにしました」とありますが、事業者の理解を得にくいので、家庭系も同時に上げてしまえというようにとられかねないと思います。言葉尻をとって申し訳ないですが、私は主婦ですのでそういう意味にしかとれませんでした。また、逆に言うと事業者の理解が得られたら、私たちの分は上げなくていいのかなとも思います。そういったことから、事業者は誰が説得するのかといった疑問も出てくると思います。 先ほど古川部長がおっしゃられていた通り、主婦は値上げに敏感ですので、上がらないに越したことはありませんが、先ほどから何回もでていきますように、流山市は人口が増えているなかで数字ではなく、廃棄物に関しては、こういうものがかかりますよ、こういうものが不足していますよと説明するのがいいと思います。先ほどで言えば、持込の時に職員が二人しかいないところで他市から出されたものは、調べられないとありましたね。そういったいろいろな人件費もかかってくるでしょうから、事業者の理解を得にくいために、両方引き上げる事としましたと一緒にしないで、「こういった理由で事業者はこうですよ、ですが、やはり一般家庭からのごみも抑制していかななくてはいけないわけですから、そういった面で皆さんの協力が必要ですので、家庭系ごみはこういった価格ですよ」といった理由にしたほうがいいのかと思います。
稲葉会長	確かにここは直さないといけないところですね。
龍田委員	人口が増える中でこういった対応をしていくか、そこが一番のこれからの問題だと思います。

稲葉会長	そうですね。なお、流山市の高齢化率というのは全国平均くらいでしょうか。
古川部長	高齢者の人口からみると、全国平均よりも低いです。
中村委員	再度申し上げますが、価格自体が、上がらないに越したことはないですが、私たちがステーションにごみを捨てる際に、近所の方に合うと、「ごみは増えていくばかりだね」という意見がよく出ます。ですから、値上げしても、「なんで上がるの？」という人ばかりではないと思います。「ごみは増えているからね」と理解していただける方もいると思います。ただし、書き方いかんですので、一緒に上げるという理由ではなく、高齢者から新しく引っ越してこられる方まで、こういったところで費用がかかりますと一言添えていただければ「仕方がないね」となるように思います。
糸井所長	資料2については、皆様方の前回の意見に対する回答ということで、今後、パブコメにおける書き方等については検討していきます。
龍田委員	僕らがこの会議の中で、料金のことについて、上げたからいいというのではなく、どうやって理論武装するのか、理論武装をきちっとしていただきたい。筋の通ったものですね。それがすべてにつながると思います。 ただこの会議で、ぼんと上げますではなく、それなりの理由を作っていただきたいと思います。
古川部長	本日いろいろなご意見をいただきましたので、次回、資料2、3について訂正させていただきます。
稲葉会長	その他、何かございますか。他になければ、以上を持ちまして本日の審議会 は終了します。皆様、お疲れ様でございました。 それでは、これで事務局にお返しいたします。
佐々木副所長	大変長時間にわたり、意義のあるご意見をいただきありがとうございました。 これをもちまして平成28年度第4回流山市廃棄物対策審議会を閉会いたします。 なお、次回の開催については、お手元のスケジュールに沿いまして、3月中の開催を予定しております。また詳細が決まりましたら、改めてご通知申し上げますので、ご参加の方よろしくお願いたします。 本日はお疲れ様でした。
閉会 15:30	